

特許紹介

第21卷第9號 昭和13年9月

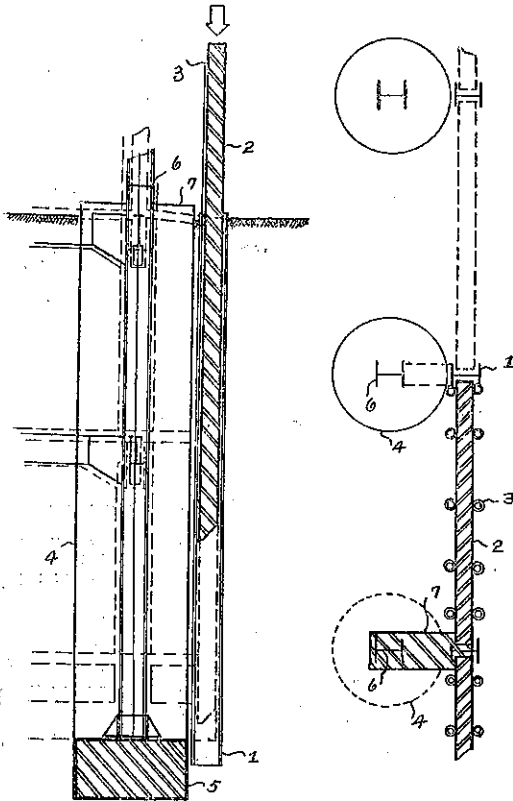
支壁を有する擁壁築造方法

(特許第125223號
特許権者(發明者) 木川保造)

此の發明は、從來の總掘式の擁壁築造方法を改良したもので、總掘をなすべき被掘鑿地面の輪廓線上に一定の間隔を保ち所要数の定規柱(1)を挿入して夫々所要の深さ迄下降せしめ、地上に於て各定規柱(1)の間に夫々射水又は射氣装置(3)を有する壁體(2)を構成して射水法又は射氣法により定規柱を夫々軌條とし地中に摺動下降せしめて被掘鑿地層を外接地層から締切り之と併行し被掘鑿地面の定規柱に近接する位置に夫々堅坑(4)を掘鑿して之が所要の深度に於て底面に基礎(5)を築造し、之に鉄骨(6)を樹て鉄骨と定規柱及壁體を一体に聯絡するコンクリート築造を施して支壁を構成せしめて後總掘をするのであり、かく總掘に先だち擁壁に強固な支壁を構築して掘鑿の安全を期し、支保工を省略し得る特徴がある(圖-1、2)。

圖-1.

圖-2.



セメント防水劑

(特許第126279號
特許権者(發明者) 近藤隆平)

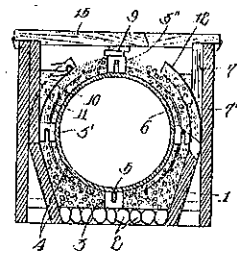
此の發明は、粘土粉末と黒鉛粉末とを水硝子溶液で練合したのを煨焼して得た焼塊を粉碎して粉末としたセメント防水劑である。

コンクリート暗渠施工法

(特許第124892號
特許権者 野藤隆一)

此の發明は特許第121731號(土木學會誌 23-12 本欄参照)の追加特許發明で、芯型(6)を定位置に保持すべき支持板(3)及抑板(3')を後に取外すことなく、之をコンクリート内に埋込み、且暗渠の上下兩半部を別々に施工せず同時に施工し得るやうに改良したものである(圖-3)。

圖-3.



淨液装置

(特許第125025號
特許権者(發明者) ロバート、ビー、モース)

汚物塵芥焼却爐

(特許第1-5537號
特許権者(發明者) 坪井真司)

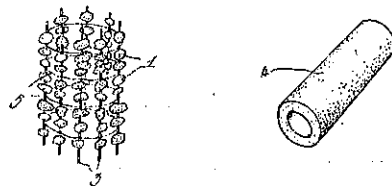
耐火石を主とする建築及土木用材の製造方法

(特許第125332號
特許権者(發明者) 市丸隆治)

此の發明は廢物として多量に存在する耐火石を利用して土木建築用材を製造するものである、即ち耐火石の塊に貫通孔を穿ち之等の多數を金屬線で串繫しモルタルコンクリート等の接合劑で一体に結合するのである(圖-4、5)。

圖-4.

圖-5.



道路舗装材

(特許第 155497 號 發明者 佐古英策)

此の發明は從來全く廢棄せられて居たアルミナ 鍍滓をアスファルト舗装材に多量に添加せしめるもので弾力性及耐蝕性に富む。

軽量コンクリート製造方法

(特許第 125471 號 發明者 中田幸一郎)

此の製造方法は、粗穀鋸屑等の木質物を乾燥性油で處理したものに、可溶性硫酸鹽類を投下した普通セメントを混合するのが特徴で、之に水を注ぎ練合してコンクリートを構成するのである。

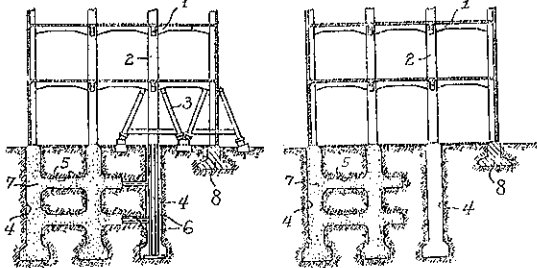
既設建築物に於ける基礎構格構成方法

(特許第 126450 號 發明者 木田限造)

此の發明は、既設建築物の通常數の支柱 (2) の負荷を假支持 (3) にて支へ (圖-6) 又は支へず (圖-7) 支

圖-6.

圖-7.



柱の下部を掘鑿し縦孔 (4) を穿ち之等の縦孔 (4) と連絡するやうに地中内に横孔 (5) を開設して縦横兩孔を互に連通せしめ之にコンクリートを充填して縦横兩孔を地中で一体に連絡して構成せる基礎構格の 1 部に前記の支柱の荷重を転荷し、次いで他の通常數の支柱に對し同様の施工を行ひ順次斯の如くにして全支柱に及ぼして全基礎構格を構成する方法であり、之に依り既設建築物及附近の地盤に悪影響を起すことなく構格を構成し得るやうにしたものである。

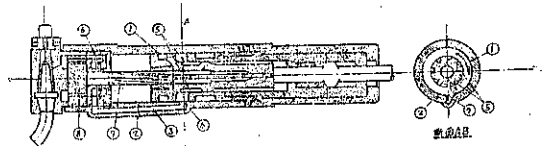
鑿岩機

(特許第 125590 號 發明者 吉田吉雄)

此の發明はピストン (1) の周面に噴出流承接の溝 (5) を切設けると共にピストン前面への高圧流体給送孔 (3) の噴出口 (4) を該噴出口から噴出する高圧流体が前記ピ

ストン面の溝に衝突してピストンを回転せしむべき方向に穿ちピストンをして送給高圧流体の噴出勢による回転力とピストン前面に加はる圧力との合成力に依り螺旋狀に復動せしめ、從來ピストン復動に際し徒にピストンをシリンダーに強擦せしめる爲に消費せられた給送高圧流体の噴出勢をピストン回転の必要動力に利用せしめ又ピストンを螺旋杆 (7) の螺旋條で誘導せしめる爲に生ずる摩擦損失を除去し、從て給送高圧流体の噴出勢に因るシリンダーの片摩耗を防止しピストンをして輕快に復動せしめて給送流体の消費最少、能率良好なる効果がある (圖-8)。

圖-8.

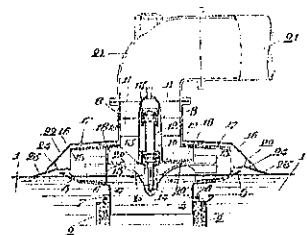


汚水酸化装置

(特許第 125362 號 發明者 關 義孝)

此の發明は特許第 119952 號 (土木學會誌 23-7 本欄参照) の追加特許發明で、原發明に於ける曝氣酸化用汚水ポンプに代るに送風の風力に依り自動的に回転すべきタービン式回転翼車 (16) を以てし、且該回転翼車にて送氣用ファンをも兼ねしめたもので、送風管 (8) から

圖-9.



送風をタービン式回転翼車に當て翼車を回転すると同時に其の回転に依り汚水を引上げ遠心力で送氣と共に周方に放出散亂し乍ら常に潤澤な量の空氣に觸れしめポンプに依るものゝ如く汚水の吸上げに動力を要せず曝氣能率を増進するやうにしたものである (圖-9)。

(附) 登録實用新案

- 地耐力試験装置 (第 253463 號 實用新案權者 公告 13 年第 5088 號)
- 水中擁壁用杭 (第 253435 號 實用新案權者 鈴木忠太郎 公告 13 年第 18401 號)
- 汚水淨化装置用撒水樋 (第 253440 號 實用新案權者 公告 13 年第 3213 號)
- 波型蛇籠 (第 253627 號 實用新案權者 鈴木勝雄 公告 13 年第 1200 號)
- 不凍給水栓 (第 253831 號 實用新案權者 關川雅吉 公告 13 年第 2270 號)
- 大型昇降水門扉支持 ピーナ装置 (第 254177 號 實用新案權者 公告 13 年第 2087 號)
- 下水用水門 (第 254243 號 實用新案權者 公告 13 年第 4430 號)

(編輯部)